

「親和保育園園歌」、及び「神戸親和女子大学附属親和幼稚園園歌」の作曲

The Composition of Shinwa Nursery School School Song and Shinwa Kindergarten affiliated with Kobe Shinwa Women's University School Song

山本裕之

要 旨

2003年1月に作曲した「親和保育園園歌」、及び2016年1月に作曲した「神戸親和女子大学附属幼稚園園歌」を作曲作品として発表した。作曲にあたって作曲者の意図も併記した。

キーワード：作曲，保育園園歌，幼稚園園歌，作曲者の意図

1. はじめに

2003年4月1日開園の親和保育園園歌，及び2016年4月1日に開園予定の神戸親和女子大学附属親和幼稚園園歌を，ここに作曲作品として発表する。

親和保育園園歌は，山本裕之¹⁾作曲，笹埜真理子²⁾作詞，沢田真智子³⁾編曲。そして，神戸親和女子大学附属親和幼稚園園歌は，山本裕之作曲，澤田愛子⁴⁾作詞，伊神ひろみ⁵⁾編曲である。

2. 作曲者の意図

(1) 親和保育園園歌

作詞者は，当時，文学部児童教育学科4年次生の笹埜真理子である。親和保育園開園に際し園歌を制定することとなり，歌詞については学生から募集することとなった。多数の応募作品より厳正に審査し，笹埜さんの歌詞が採択された。作曲は，本学音楽科目担当教員である私が担当することとなった。

○作曲するにあたり，歌詞からイメージした想いは下記のとおりである。

- ・明るく元気な曲
- ・楽しく心が弾む曲
- ・未来に向かい，希望があふれる曲
- ・子どもが自然の中で，のびのびと過ごす曲

- ・子どもが遊びを通して、健やかに育つ曲
- 作曲するにあたり、リズムやメロディーにおいて留意した点は下記のとおりである。
 - ・速さは快活なイメージを表現するために、4分音符=112のAllerettoとした。
 - ・拍子は、4分の4拍子（強・弱・中強・弱）とした。
 - ・軽快なイメージを表現するために、付点のリズム（スキップ）を多用した。
 - ・中間部は、伸びやかに歌えるように付点四分音符や四分音符を用いた。
 - ・子どもの歌唱時の音域に留意し、1点ハ音から2点ニ音までの長9度音程とした。
 - ・メロディーラインは順次進行を基本とし、跳躍は短3度音程までとした。

親和保育園園歌

笹 瑳 真理子 作詞
 山本 裕之 作曲
 沢田 真智子 編曲

♩ = 112 あかるくげんきに

Piano

7 *mf*

1. おひさまきらきら かがやいて ぼくらのことを一みているよ
 2. つくしがぐんぐん のびる ように わたしも おおきくなり たいな
 3. みんなのげんきな うたごえは ろっこうさんに一こ だます

Piano.

11

かけっこままごと みずあそび きょうはなににして あそぼうかな
 おいしいきゅうしょく いただいて すくすくげんきに のびるんだ
 みどりのな一かの とりたちも みんなといっしょに チュンチュンチュン

Piano.

15 *f* よくうたって

わ く わ く ド キ ド キ た の し い な
 こ ろ も か ド キ た の し い な
 せ ん せ い と も だ ち わ に な っ て

Piano. *f cantabile*

19 *mf* *To Coda* 1. 2. *D.C. al Coda*

ニコニコえがおの ほいくえん
 げんきいっぱい ほいくえん しーんなほいくえん ん
 とってもたのしい ほいくえん

Piano. *mf* *To Coda* 1. 2. *D.C. al Coda*

24 *f* *rit.*

しーんなほいくえん

Piano. *f* *rit.*

親和保育園 園歌

1. おひさまきらきらがやいて ほくらのことをみているよ
かけっこまごともみずあそび きょうはなにしておそぼかな
わくわくどきどき たのしいな
ニコニコえがおのほいくえん しんなほいくえん
2. つくしがぐんぐんのびるように わたしもおおきくなりたいな
おいしいきゅうしょくいただいて すくすくげんきにのびるんだ
こころもからだも はずんでる
げんきいっぱいほいくえん しんなほいくえん
3. みんなのげんきなうたごえは ろっこうさんにこだまする
みどりのなかのとりたちも みんなといっしょにチュンチュンチュン
せんせいともだち わになって
とつてもたのしいほいくえん しんなほいくえん

(2) 神戸親和女子大学附属親和幼稚園園歌

作詞者は、発達教育学教授・神戸親和女子大学附属親和幼稚園園長の澤田愛子氏である。神戸親和女子大学附属親和幼稚園の開園に際し、園歌を制定することとなった。歌詞については園長就任予定の澤田愛子氏に依頼することとなり、作曲については本学音楽科目担当教員である私が担当することとなった。

なお、園児の音域を考慮し、変ロ長調とハ長調の2種類の調で作曲した。

○作曲するにあたり、歌詞からイメージした想いは下記のとおりである。

- ・明るくのびやかな曲
- ・なめらかに流れる曲
- ・未来に向かい、飛翔する曲
- ・子どもが自然の中で、戯れる曲
- ・子どもが仲間とともに、健やかに育つ曲
- ・子どもが友だちと手をつなぎ、共に歩む曲

○作曲するにあたり、リズムやメロディーにおいて留意した点

- ・速さは、伸びやかに流れるイメージを表現するために、付点4分音符=46のAndante con

motoとした。

- ・拍子は、大きな2拍子を感じることできる8分の6拍子（強・弱・弱，中強・弱・弱）とした。
- ・ゆったりと流れるイメージを表現するために8分の6拍子とした。
- ・中間部は、伸びやかに歌えるように四分音符と八分音符のリズムを2小節用いた。
- ・子どもが無理のない自然な声で歌うことできる音域に留意し、ハ長調では1点二音から2点二音までの完全8度音程（1オクターブ）とした。
また、変ロ長調では1点ハ音から2点ハ音までの完全8度音程（1オクターブ）とした。
- ・メロディーラインは順次進行を基本としたが、一箇所のみ長6度の跳躍を入れた。

神戸親和女子大学附属親和幼稚園園歌

澤田愛子 作詞
山本裕之 作曲
伊神ひろみ 編曲

Andante con moto
♩ = 44
あかるく のびのびと

Andante con moto
♩ = 44
あかるく のびのびと

legato
mf

6 *mf* *V* *V*
あ お い そらに お ひ さ ま に こ に こ か が や い て こ と
い に わ に そ よ か ぜ キ ラ キ ラ ジャ ンプ し て こ と

legato

11 *V* *cresc.* *V* *f*
り も お は な も う た 一 つ て る や さ し く げ ん き な し ん わ の こ え が お が
り も お は な も あ そ ん で る や さ し く げ ん き な し ん わ の こ と も だ ち が

cresc. *f*

神戸親和女子大学附属親和幼稚園園歌

16 *cresc.* *mf*

いっ ぱい たのしい ようち えん ララララ てをつなごう
 いっ ぱい たのしい ようち えん ララララ てをつなごう

20 *cresc.*

ララララ てをつなごう こころころが つながって あ し た に は
 ララララ てをつなごう みんなのゆめが かがやいて み し ら い に は

24 *f* 1. 2.

ば た く しん わ よう ち え ん ひ ろ ん
 ば た く しん わ よう ち え ん

神戸親和女子大学附属親和幼稚園園歌

澤田愛子 作詞
山本裕之 作曲
伊神ひろみ 編曲

Andante con moto
♩ = 44
あかるく のびのびと

Andante con moto
♩ = 44
あかるく のびのびと

legato
mf

6 *mf* *V* *V*

あ お い そらに お ひ さ まに こ に こ か が や い て こ と
い に わ に そ よ か ぜ キ ラ キ ラ ジャ ンプ し て こ と

legato

11 *V* *cresc.* *V* *f*

り も お は な も う た 一 つ て ー る や さ し く げ ん き な し ん わ の こ え ー が お が
り も お は な も あ そ ん て ー る や さ し く げ ん き な し ん わ の こ と も だ ち が

cresc. *f*

神戸親和女子大学附属親和幼稚園園歌

16 *cresc.* *mf*

いっ ぱ い たのしい ようち え ん ララララ てをつなごう
 いっ ぱ い たのしい ようち え ん ララララ てをつなごう

cresc. *mf*

20 *cresc.*

ララララ てをつなごう ころところが つながーつ て あ し ら た に はー
 ララララ てをつなごう みんなのゆーめが かがやい て あ み し ら い に はー

cresc.

24 *f* 1. 2.

ば た く し ん わ ようち え ん ひ ろ ん
 ば た く し ん わ ようち え ん ひ ろ ん

f *rit.*

神戸親和女子大学附属親和幼稚園 園歌

1. 青い空に お日様 にこにこ 輝いて

小鳥も お花も 歌ってる
優しく 元気な 親和の子
笑顔が いっぱい 楽しい幼稚園
ラララララ 手をつなごう
ラララララ 手をつなごう
心と心がつながって
あした
明日に 羽ばたく 親和幼稚園

2. 広い庭に そよ風 キラキラ ジャンプして

小鳥も お花も 遊んでる
優しく 元気な 親和の子
友達が いっぱい 楽しい幼稚園
ラララララ 手をつなごう
ラララララ 手をつなごう
みんなの夢が 輝いて
未来に 羽ばたく 親和幼稚園

3. 作曲者プロフィール (山本裕之)

大阪音楽大学音楽学部声楽科卒業。1983～84年、ドイツ文化センター給費留学生としてミュンヘンへ留学。1997～98年、神戸親和女子大学在外研究員としてイタリア・ミラノで研鑽を積む。関西歌劇団、ニッセイオペラ、大阪音楽大学「ザ・カレッジ・オペラハウス」、神戸・アーバンオペラハウス、宝塚・ベガホールオペラにおいて、オペラ「魔笛」(タミーノ)、「コシ・ファン・トゥッテ」(フェランド)、「ドン・ジョヴァンニ」(ドン・オッターヴィオ)、「後宮よりの逃走」(ベルモンテ)、「カヴァレリア・ルスティカーナ」(トゥリッドゥ)、「アイーダ」(ラダメス)、「椿姫」(アルフレード)、「外套」(ルイージ)、「マダム・バタフライ」(ピンカートン)、「カルメン」(ドン・ホセ)、「ラ・ボエーム」(ロドルフォ)、「トスカ」(カヴァラドッシ)、「ラ・ジョコンダ」(エンツォ)、「アドリアーナ・ルクヴルール」(マウリツィオ)等、数々のオペラの特ノールの主役を務め、優れた音楽性とリリックな歌唱で常に好評を得ている。ベートーヴェン作曲「第九」、ヘンデル作曲「メサイヤ」等のテノールソロとしても活躍中。特に、「第九」の特ノールソリストとしてのオーケストラとの共演は50回を数える。また、テノール・リサイタルを、宝塚ベガ・ホール(1985年)、アメリカのCannonbeach City Hall(1994年)、神戸文

化中ホール（1995年）、イタリアのZubiaco City Hall（2005年）、神戸新聞松方ホール（2009年）等で開催している。第11回イタリア声楽コンクール金賞受賞。1998年、関西歌劇団創立50周年記念公演オペラ「アイダ」（日伊合同制作）において、イタリアのソプラノ歌手：Norma Fantiniと共演し成功を収めている。1999年度兵庫県芸術奨励賞受賞。2003年、主役を演じた関西歌劇団公演（日伊合同制作）オペラ「アドリアーナ・ルクヴルール」が、文化庁芸術祭「優秀賞」を受賞。2013年神戸市文化活動功労賞受賞。故内本 実、故三室 堯、林 誠、安則雄馬、故五十嵐喜芳、D.マツォーラ、V.テッラノーヴァ、M.コラチッキの諸氏に師事。現在、神戸親和女子大学発達教育学部児童教育学科教授、関西歌劇団正団員、神戸芸術文化会議、神戸CSの会、兵庫県音楽活動推進会議、神戸音楽家協会各会員。

4. おわりに

現在、私は児童教育学科教職課程科目の音楽系科目を担当している。研究分野はイタリアオペラにおけるベルカント歌唱法、及び頭声発声を用いた児童発声指導法である。研究の中心は音楽表現における歌唱法であるが、今回は作曲作品として園歌2曲を発表した。今後は、子どもが豊かな感性を培うための「子どもの歌」の作曲にも意欲的に取り組んでいきたいと考えている。

(注)

- 1) 山本裕之 発達教育学部児童教育学科教授
- 2) 笹埜真理子 本学文学部児童教育学科2003年3月卒業、現在神戸市職員（保育士）
- 3) 沢田真智子 本学非常勤講師
- 4) 澤田愛子 発達教育学部児童教育学科教授
- 5) 伊神ひろみ 本学非常勤講師